

マスコミ各位

平成29年8月30日（水）
沖縄県保健医療部 地域保健課
担当：山内、川上
098-866-2215

結核集団感染の発生について ～結核は昔の病気ではありません～

※ 2週間以上咳や痰が続いたら、早めに受診してください。

南部保健所管内で結核集団感染（*1）の報告がありました。

これまでに、南部保健所が、当該患者と接触した可能性がある方の健診を行ったところ、平成29年8月10日現在、発病者3人（家族2人、家族外1人）、感染者5人が確認され、集団感染事例と判断されましたので注意喚起のため情報提供します。

1 初発患者の経過概要

- ・ 30代男性。
- ・ 平成28年8月頃より症状（咳、痰）出現し、複数の医療機関受診。
内服薬処方され経過観察するも、症状改善無し。
- ・ 平成29年2月に受診した医療機関で、肺結核及び気管支結核の診断となり入院治療を開始。
- ・ 現在は通院治療中。

2 接触者健診の結果（平成29年8月10日現在）

| | 受診者数 | 受診結果 | | |
|-----|------|---------|---------|---|
| | | 発病者（*2） | 感染者（*3） | 計 |
| 家族 | 5 | 2 | 3 | 5 |
| 家族外 | 62 | 1 | 2 | 3 |

* 発病者は、排菌はなく現在治療中であり、周囲に感染させるおそれはありません。

3 集団感染の主な要因

- 初発患者の排菌量が多かった。
- 胸部エックス線検査では、診断が困難であった。
- 喀痰検査の実施が遅れ、診断まで時間を要した。

4 保健所の対応

- 保健所は、初発患者から聞き取り調査を実施後、対象者の範囲を設定し、接触者健診を実施。
- 初発患者の接触者へ接触者健診及び相談を実施。
- 初発患者、発病者、感染者に対し、服薬支援を実施。

5 報道にあたってのお願い

本報告は、感染症の発病又はまん延防止を図るため、県民へ結核についての注意喚起を行うものです。発病者、感染者等の人権尊重には十分なご配慮、ご理解を頂きますようお願いいたします。

【用語についての説明】

* 1 集団感染とは：

厚生労働省の定義で、同一の感染源が、2家族以上にまたがり20人以上に結核を感染させた場合をいい、発病者1人を6人の感染者に相当するとして計算する。

* 2 発病者とは：

感染した後、結核菌が活動を始め、菌が増殖して、症状が出現した者。

* 3 感染者とは：

結核菌に感染しているが、発病していない者。

* 4 排菌とは：

結核を発病している人が体の外に菌を出すこと。

6 結核とは

結核とは、結核菌が原因となる感染症です。

- (1) 感染経路：結核の感染は、結核菌が患者の咳やくしゃみで空気中に飛び出し、それを肺の中に吸い込むことにより起ります。感染しても、全員が発病するわけではなく、発病するのは10人に1人か2人と言われています。結核菌の増殖は遅いので、感染してから発病するまで、早くても数ヶ月かかります。
- (2) 症状：肺結核を発病すると、咳や痰、微熱などが持続しますので、これらの症状が2週間以上続く場合には、早めの受診が必要です。
- (3) 治療：結核は、症状に応じて入院または通院で治療を受けますが、ほとんどの場合、決められた期間欠かさず薬を服用すれば治癒します。
- (4) 発生状況：日本の新規患者数は18,280人(H27年)、罹患率(人口10万対)は14.4で、世界的に見て日本は結核の中まん延国といわれています。
県内では新規患者数201名(H28年)、罹患率14.0です。

*県内患者数及び罹患率

| | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 患者数 (人) | 299 | 251 | 241 | 214 | 201 |
| 罹患率 (人口10万対) | 21.2 | 17.7 | 16.9 | 14.9 | 14.0 |